

# コミュニケーション教育

●「話し合う・創る・表現する」ワークショップ等を通じた子どもたちのコミュニケーション能力の育成を図る。

＜演劇的手法を通した活動＞

- ①自分とは異なる他者を意識すること
- ②集団を形成し、他者との協調、協働が図られる活動を行うこと
- ③他者意識を通して自己の存在を見つめ、思考すること
- ④対話やディスカッション、身体表現等を活動に取り入れつつ正解のない課題に取り組むこと



対話力

イメージの共有化

インパクト（共感）

合意形成能力

## 真の主体的・対話的で深い学びの実現

演劇的手法を用いたコミュニケーション教育については、単に「演劇を経験する」「表現力を育む」といった直接的な方法を体得することが目的ではありません。子ども達が将来生き抜く社会は、予測困難で先行き不透明な社会になると言われています。また、グローバル化も一層進み、異なる意見や文化、価値観がある中で正解のない課題に取り組んでいく「多文化共生」の時代です。

宮津市が進めるコミュニケーション教育は、演劇的手法を取り入れた活動を通して、子ども一人一人が自己を確立しつつ、他者を受容し、多様な価値観を持つ人々と共に思考し、協力・協働しながら課題を解決し、新たな価値を生み出しながら社会に貢献することができ力を育みます。演劇的手法を用いたコミュニケーション教育が、日々の学びに浸透し、質の高い主体的・対話的で深い学びを実現します。

## 令和7年度宮津市教育フォーラム

### 1 目的

学びの主体である子ども達の生の声を聴くことを通して、「コミュニケーション教育」をはじめとした宮津が目指す「宮津の新しい教育」について、市民・保護者の理解を深め、宮津市民と共に考え、学び機会とする。

### 2 内容

13:00 受付

13:30 開会挨拶

宮津市教育委員会 教育長 山本 雅弘

13:40 基調講演

「これから求められる教育とコミュニケーション教育」

講師 芸術文化観光専門職大学 学長 平田 オリザ 様

14:20 休憩・準備

14:25 パネルディスカッション

司 会：宮津市教育委員会事務局学校教育課

MC/デベーター：芸術文化観光専門職大学 学長 平田 オリザ 様

【第1部】コミュニケーション教育の実践から

登壇者：宮津市立吉津小学校 野坂 映里 教諭  
宮津市立吉津小学校 6年 野村 一翔 さん  
宮津市立宮津中学校 志村 拓也 教諭  
宮津市立宮津中学校 1年 木村 友星 さん  
宮津市立宮津中学校 1年 上野 愛奈 さん

【第2部】探究的な学びの実践から

登壇者：京都府立宮津大橋高等学校宮津学舎 多々納 智 教諭  
京都府立宮津天橋高等学校宮津学舎 2年 泉 博堯 さん  
京都府立宮津天橋高等学校宮津学舎 2年 高田 円花 さん  
佛教大学 2年 東山 綾 さん  
株式会社 FoundingBase 三原 功士郎 様

15:50 フロアからの感想・講評

芸術文化観光専門職大学 学長 平田 オリザ 様

16:30 閉会



# 令和7年度宮津市教育フォーラム



日 時

令和7年12月13日(土)

午後1時30分～午後4時30分

場 所

みやづ歴史の館 文化ホール

主 催

宮津市教育委員会

## 学びの深化プロジェクト

●「変化していく社会で、ともに学び合い、挑戦し、ふるさとみやづへの愛と誇りを持って、明日の宮津を創造していく人」を育む教育の実現を図り、Agencyを育む「宮津の新しい教育」を構築するプロジェクトを「エデュケーション・イノベーション」をキーワードに、自己で目標を設定し、責任を担って行動する能力を育成する。

【Mission】

- ①子どもが主体で学ぶ教育環境の確立
- ②個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実
- ③主体的・対話的で深い学びの実現化による学力向上
- ④教科等の学びを日常生活や地域課題で発揮する学習デザインの創造
- ⑤主体的に学ぶ教職員集団の構築

【取組】

- ・研究実践校の設置による研究効果の波及（吉津小学校）
- ・一般公募による研修チームの発足
- ・誰もが参加できる研修会
- ・学校の実践課題へのサポート訪問の充実 等



## 元々の学びは大人の学びは別物